

基金と町債の残高 (平成25年3月末現在)

■基金残高合計 13億3,994万円 ■町債残高合計 125億1,997万円

◇主な内訳(残高が1億円以上のもの)

財政調整基金	7億6,993万円	一般会計の町債	64億8,554万円
施設整備基金	1億5,235万円	公共下水道事業債	32億8,285万円
国民健康保険財政調整基金	1億3,034万円	水道事業債	17億2,033万円
		病院事業債	10億3,125万円

各会計別決算

会計別	歳入決算額	歳出決算額
■一般会計	61億4,312万円	60億7,147万円
■特別会計		
国民健康保険	12億6,498万円	12億6,210万円
公共下水道事業	3億0,715万円	3億0,715万円
介護保険	13億0,375万円	13億0,107万円
後期高齢者医療	1億4,728万円	1億4,652万円
■企業会計		
病院事業	29億5,003万円	24億6,131万円
収益的	5,841万円	2億0,152万円
水道事業	3億0,721万円	2億8,099万円
資本的	9,661万円	3億0,789万円

一般会計事業別決算

議会費	6,376万円
総務費	13億1,621万円
民生費	11億5,317万円
衛生費	13億3,292万円
労働費	460万円
農林水産業費	2億2,219万円
商工費	6,848万円
土木費	5億6,321万円
消防費	1億9,516万円
教育費	2億3,826万円
災害復旧費	372万円
公債費	9億0,981万円

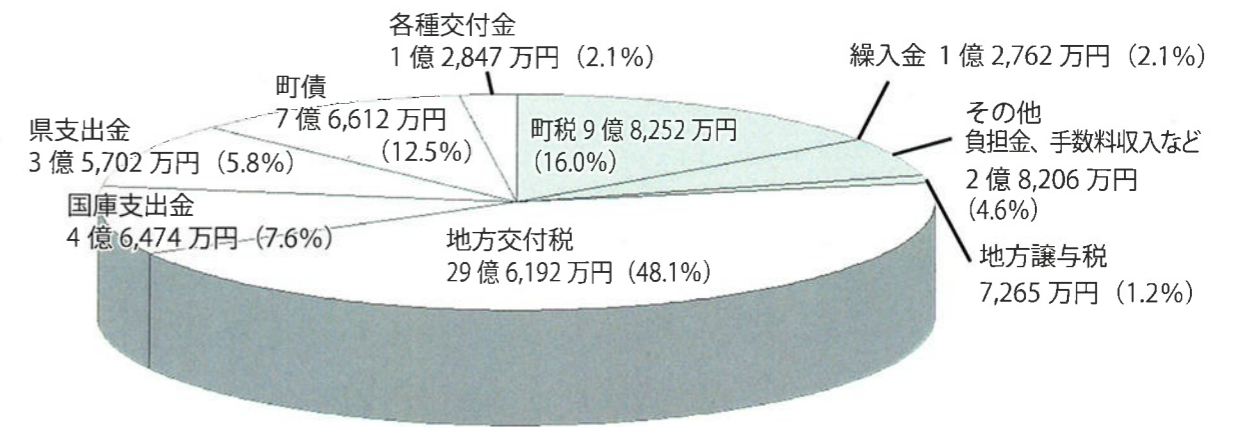
# 平成24年度 町の家計簿

平成24年度一般会計、特別会計および企業会計の決算が、12月議会で認定されましたので、その概要をお知らせします。なお、掲載してあります金額は、紙面の都合上、1万円単位で表示しています。

☎総務課 52-3600

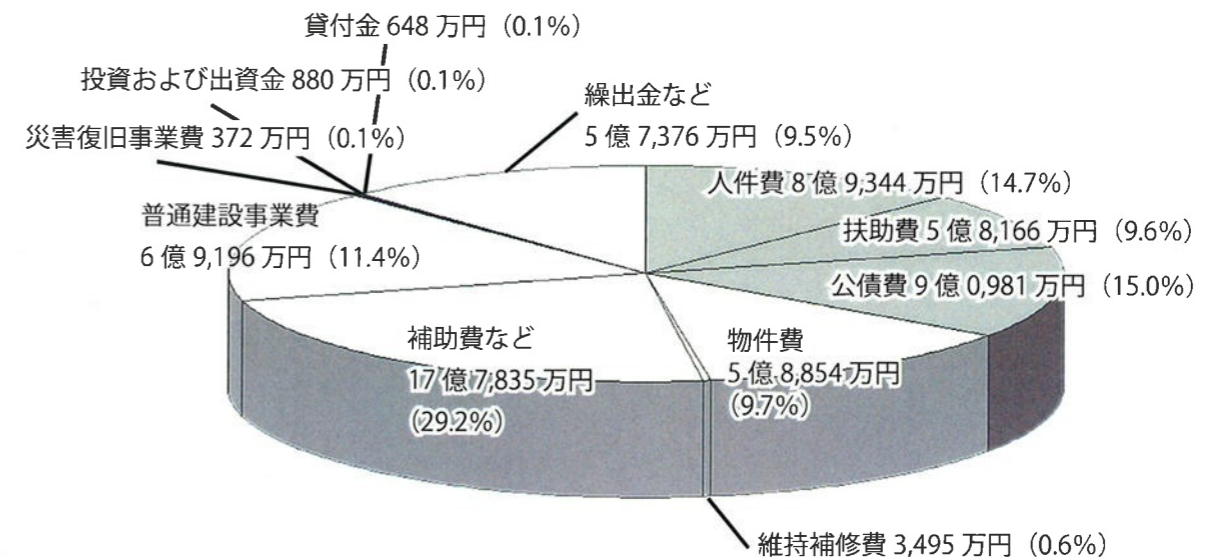
## 一般会計歳入決算 61億4,312万円 ※町税収入の内訳

- 自主財源(町税、繰入金、その他)
  - ・・・13億9,220万円(22.7%)
- 依存財源(地方交付税、国県支出金など)
  - ・・・47億5,092万円(77.3%)



## 一般会計歳出決算 60億7,147万円

- 義務的経費(人件費・扶助費・公債費)
  - ・・・23億8,491万円(39.3%)
- 投資的経費(普通建設事業費・災害復旧事業費)
  - ・・・6億9,568万円(11.5%)
- 經常的経費(物件費・維持補修費・補助費など)
  - ・・・24億0,184万円(39.5%)
- その他(投資および出資金・貸付金・繰出金など)
  - ・・・5億8,904万円(9.7%)



### ●財政構造指標●

【經常収支比率】89.8

【実質赤字比率】▲1.39

【実質公債費比率】15.9

【将来負担比率】113.8

【連結実質赤字比率】▲19.37

町の全ての会計の赤字と黒字を合算して、全体の資金不足額と一般財源の規模を比較しており、この数値が高いほど、町全体の財政運営が深刻化します。平成24年度決算においては、黒字のため、比率はマイナス表示となっています。

【将来負担比率】113.8

町の一般会計の借入金(町債)や、将来支払っていく可能性のある負担などの残高から、将来の財政を圧迫する可能性がどの程度なのかを表すもので、この数値が高いほど、将来の財政を圧迫します。

	24年度	23年度	22年度	早期健全化基準	財政再生基準
過年度からの推移					
經常収支比率	89.8	91.5	91.9	—	—
実質赤字比率	▲1.39	▲1.92	▲1.92	15.0	20.0
連結実質赤字比率	▲19.37	▲9.95	▲8.69	20.0	40.0
実質公債費比率	15.9	18.5	20.5	25.0	35.0
将来負担比率	113.8	121.5	124.6	350.0	—

を下回り、前年度との比較でも改善されていますが、依然として厳しい財政状況にあります。